

南空知地域リハビリテーション広域支援センター 平成20年度活動状況

【目標】 「障がいを持っても住み慣れた地域で自立した生活を送ることができる」

【これまでの活動から見えてきた主な課題】

課題1．ネットワークの構築が十分ではない

課題2．リハビリテーション技術を学ぶ機会が少ない

【その他の活動】

・総会（年1回）

・専門部会（月1回）

【課題解決に向けた具体的活動】

課題1について

ネットワーク構築に向けて、まずは「医療」と「介護」の連携に取り組む。

【活動】

- ・医療機関の問い合わせ窓口の明確化 一覧表にまとめる
- ・医師との連携を模索
医師の参加がある勉強会で、推進会議の活動の周知等を実施
- ・ケアマネージャー 医療機関の患者情報連絡票の周知等
- ・研修会の開催（多職種混合でのグループワーク、平成20年度は実績なし）

課題2について

リハ技術を学ぶ機会を確保し、現場レベルでの技術力を向上する。

【活動】

- ・研修会の開催（実技研修会）によるリハ技術の普及
20年度は「明日から実践できる食支援」研修会開催
主な対象は介護職、約100名の参加者があり好評
- ・講師バンク（平成20年度は現段階では実績なし）

【活動の問題点】

活動資金の確保

医師との連携が困難

南空知圏域全体での活動が不十分